

平等に教育を受ける権利を守る

宮 玉婷 (筑波大学大学院／教育制度学)

さよなら子供たち

(原題：Au revoir les enfants)

- ◆ 種別：DVD ビデオ (映画)
- ◆ 監督：ルイ・マル
- ◆ 製作年：1987年
- ◆ 製作国：フランス、西ドイツ
- ◆ 発売元：株式会社 IMAGICA TV
- ◆ 販売元：紀伊國屋書店
- ◆ 時間：本編 105分
- ◆ 音声：フランス語・字幕：日本語字幕
- ◆ 品番：KKDS-508
- ◆ 価格：¥3,990 (税抜¥3,800)



©1987 Nouvelles Editions de Films

あらすじ

1944年、パリから離れ寄宿学校で疎開しているジュリアンは、クリスマス休暇を終えて母と別れた駅で同級に転入したジャンと初めて出会う。二人は、森での宝探しを通して友情を深めていくが、ジュリアンがユダヤ人をからかうことが原因で揉める。ジャンはジュリアン一家の食事会に招待され、人種に偏見のないジュリアンの母に好印象を持つ。

ある日、元料理番ジョセフのゲシュタポへの密告により、ジャンをはじめ3人のユダヤ人が学校にいたことが発覚する。学校は閉鎖され、ジャンたちをかくまった罪で校長のジャン神父は逮捕されてしまう。連れられて行く校長に対し、生徒たちは口々に言葉をかけた。それ以降、ジュリアンたちは彼らの姿を見ることはなかった。しかし、ジュリアンの心の中には、今もあの朝の出来事が鮮明に残っている。そしてそれは、一生忘れることはないであろう。

シーン再現

(密告により、ドイツ軍人が学校へユダヤ人生徒を捕まえに来た場面)

ドイツ兵：ゲシュタポのミュラーだ。ジャン・キペルシュタイン、返事しろ！
先生：そんな子はいない。

Chapter

1. 休暇明け／4'45
2. 新入り／6'14
3. 竹馬合戦／7'32
4. 優等生／6'09
5. ピアノレッスン／6'12
6. 公共浴場にて／5'33
7. ボネの秘密／6'59
8. 疑念／4'39
9. 宝さがし／8'16
10. 森からの帰還／5'00
11. 面会日／4'48
12. レストランでの出来事／7'39
13. 映画上映会／5'22
14. 闇取引の罰／3'37
15. 連弾／4'30
16. ゲシュタポ／6'50
17. 密告者／4'08
18. 別れのとき／6'31

ドイツ兵：来たまえ。

ミュラー：フランス人ではない。ユダヤ人だ。校長は少年を隠匿し、公然とドイツ軍に反逆した。学校は閉鎖だ。2時間後に、荷物をまとめ、中庭に並べ！

生徒たち：なぜか、ポネはユダヤか、どういうことですか？

教育学の視点から



この映画の登場人物の中で、最も印象深い人物は、寄宿学校の校長ジャン神父である。彼は、ナチス占領下にある学校で、人種や出自を問わず、生徒たちに安全な学習環境を保障し、力を尽くした。

「ユダヤ人を絶滅させよ」というナチスによる恐喝にもかかわらず、ユダヤ人生徒に平等に教育を受けさせようとする

ジャン神父。彼の行為は、「教育に国境線はない」ということを文字通り実行しようとした、教師の挑戦である。厳しい状況下において、彼は、命を失う危険を冒してまでも、生徒たちの平等に教育を受ける権利を守り通そうとしたのだ。

現代社会でも、子どもたちが教育を受けられない現実がある。たとえば、中国では、貧乏で学校をやめざるを得ない子どもたちが未だに多く見られる。特に、子どもが複数いる貧困家庭では、男子を優先的に学校に行かせ、女子は教育を受けられないことも少なくない。また、出稼ぎで農村地域から大都市に連れて来られた子どもたちは、戸籍制度のために義務教育さえも受けられない状況がある。教育平等化の実現が各国で注目されてきている今日、早急な教育改革が望まれる。日本国憲法第26条は、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」と規定している。それでは、われわれは如何にして教育平等化を達成するのか。

この映画は、教育における平等を実現するために、学校から政府までが、どのような努力をするべきかについてヒントを与えてくれる。厳しい状況下において、ジャン神父が力を尽くし、生徒たちの教育を受ける権利を必死に守ったのはなぜだろうか。その行為は、平和な社会で暮らす私たちに、反省を迫るものであろう。

Information

本作品は、ナチス占領下のフランスで子供時代を過ごしたルイ・マル監督の自伝的作品である。『死刑台のエレベーター』（Ascenseur pour l'échafaud・1957年・フランス）で知られる同監督が、「死ぬ前にこれだけは撮っておかなければならない」という思いで、アメリカでの活躍の後、フランスに戻り最初に手がけた作品である。ヴェネチア国際映画祭金獅子賞ほかを受賞している。ニューマスター版DVDには、ジャケットと同じデザインのポスターの裏に、監督自身へのインタビューも収録されている。